



事例3：チェックリストを利用して、自園の保育の良いところを見つける

<p>1. 実施方法</p>	<p>【1回目のチェック実施】</p> <p>(1) 自身の保育を振り返りながら、<u>各自で1カ月かけて自己チェック</u>を行う。</p> <p>(2) 自己チェックの結果を、保育の合間を縫って<u>クラスごとに相談しながらまとめる</u>。その際、項目の意味や受け止め、自分たちと他クラスの比較、自己の振り返りなど、自由に意見を出し合う。</p> <p>(3) 1カ月後の職員会議で<u>それぞれがチェックを行った感想や気づきを述べ、共有</u>。</p> <p>【2回目のチェック実施】</p> <p>園内研修で実施。</p> <p>(1) <u>各自で自己チェック</u>を行う。</p> <p>(2) 園内研修参加者を、クラスや担当が同じにならないように4つのグループに分ける。</p> <p>(3) 自らの<u>クラスで話し合った内容を、グループ内で共有</u>する。</p> <p>(4) 共有した内容から、<u>園で「行っている」、または「行っていきたい」と考える「良いかかわり」をふせんに書き出し</u>、チェックリストのカテゴリーに沿って分ける。</p> <p>(5) できあがった<u>「良いかかわり」のリストを、各グループ3分程度で発表</u>し、他グループは、発表に対する意見や感想を自由に発言する。</p> <p>(6) 各グループで出し合った<u>ふせんは、職員室の壁に2週間貼り、共有</u>した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「良いかかわり」として出た意見の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 1歳児が靴を自分で履きたくても履けない時等は「私がお手伝いしてもいい？」と聞き、子どもの意思と自己決定を大切にする。 ➤ 乳児を後ろから抱きかかえず、抱っこすることや触れることを、目を合わせて伝えてから、触れたり抱っこしたりする。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
----------------	--

<p>2. 実施による変化</p>	<p>【個人の変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>日頃の保育でとくに大切にしている子どもへの声掛けや対応について、あらためて自分の言動を振り返るようになった。</u> <p>【組織としての変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育のあり方と人権について細かな話し合いができ、<u>職員間での意識の統一がはかられた。</u>
<p>3. 実施者の感想</p>	<p>【1回目の実施後の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で気づかないうちにそのような行動を取っていたかもしれない。 ○ 保育所保育指針のなかの文言を具体例として人権について考えることができ、保育をするうえで分かりやすい。 ○ <u>日常の保育のなかで子どもの思いを組んで主体性を大切にしていることが人権を守ることに繋がっていると感じる。</u> ○ 自分だけの思いではなく、客観的な見方をしてもらえるとよい。 <p>【2回目の実施後の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の保育の振り返りだけでなく、<u>実習受け入れの際に、園全体として学生に伝えたいことの確認にもなった。</u>